



令和7年度 頸城中学校ブランドデザイン

〒942-0164 新潟県上越市頸城区湯口 60
TEL 025-530-2405 FAX 025-530-2014
HP <http://www.kubiki-j-jorne.ed.jp/>

頸城区の目指す子どもの姿

教 育 目 標

目 指 す 生 徒 の 姿

ふるさと頸城を愛し、思いやりにあふれ、未来をたくましく切り拓く生徒
豊かな心をもち、たくましく実践する生徒

- ・主体的に学び続け、新たな価値を生み出せる生徒
- ・互いの気持ちを尊重し、仲間と心が共鳴し合う生徒
- ・生活習慣の改善に取り組み、心身ともに健康な生活を送る生徒

学力づくり

「主体的で対話的な学び」
「基礎学力の向上」

生徒

- 「なりたい自分」を目指し、授業に主体的に取り組めます
- 学習時間を確保し、予習・復習などの家庭学習に取り組めます

学校職員

- 学ぶ楽しさ・分かる喜びが実感できる授業を行います
→生徒がわくわくする授業づくり(導入や課題の工夫、授業形態など)
★授業評価アンケートで教師・生徒ともに肯定90%以上
- 個に応じた学習内容の定着を図ります(ICTの活用)
→基礎基本の定着に向けた個別最適な学びの実践
★授業評価アンケートで教師・生徒ともに肯定90%以上
- 生徒の思考力、判断力、表現力を向上させます
→生徒の表現活動(プレゼンテーション)の充実
→ペア活動や話し合い活動の充実による学び合いの推進
★授業評価アンケートで教師・生徒ともに肯定90%以上

保護者

- 家庭学習の習慣化に向け、学習する環境を整えます
- 学びの状況や目標を学校と共有し、生徒が自身で自律して改善を図れるように働きかけます

絆づくり

「認め合い高め合う集団」
「確かな人権感覚」

- 差別、いじめをしません 見逃しません 許しません
- 自他の人権を尊重して、温かな人間関係づくりをします

- 多様な仲間とのかかわりを大切に、差別や偏見をもたない心、いじめをしない・見逃さない・許さない心を育成します
→部落問題学習、人権教育の実践、予防教育的生徒指導の推進
★「いじめをしない、許さない集団づくり」に努力している」肯定100%
- 社会性を育成します
→あいさつ・返事の励行、社会生活や集団生活のルールの遵守
★「さわやかなあいさつを進んで行っている」肯定90%
- 自己有用感を育成します
→話し合い活動を活用した自浄力の向上、学級・学年の集団づくり
★「係や当番の仕事を進んで行い、仲間の役に立っている」肯定90%

- 思いやりや生命を大切にすること、人権を尊重する態度等の基礎を育み、互いに人権を尊重しながら生きる社会の実現に努めます
- 大人から積極的にあいさつや声かけをします。

からだづくり

「望ましい生活習慣」
「メディアコントロール」

- 「早寝・早起き・朝ご飯」を実行します
- メディアを適切に利用できる力(メディアコントロール)を身に付けます

- 望ましい生活習慣が身に付くよう指導します
→朝は6時30分までに起床、夜は11時までに就寝
→定期的な生活習慣チェックの実施
★「夜11時までに就寝することができた」肯定70%
- 望ましいメディアとの関わり方を指導します
→少年サポーターセンター等の外部機関との連携
→保護者と協力し、スマートフォンやタブレットPC等を利用する際のルールについて考える機会の設定
★「家庭でルールを決め、それを守らせている」肯定70%

- 基本的な生活習慣(早寝・早起き・朝ご飯)を習慣付けます
- メディアを適切に利用できる力(メディアコントロール)の定着に向け、家庭で取り組みます

地域とともにある学校づくり

- 地域との連携を大切に教育活動を推進します
- 「頸城区青少年育成会議」「学校運営協議会」と連携・協働し、「あいさつ運動」「講演会」「児童委員・民生委員懇談会」などを実施し、地域の皆さんとの関わりを深めます

頸城中学校区の小中一貫教育(南川小・大港小・明治小・頸城中)

- 学力向上：学ぶことよさが分かり、課題解決やめあて達成に向けて友達とよりよく関わりながら主体的に学ぶ
- 豊かな心：思いやりの気持ちをもち、相手の立場や役割を理解して、自分との違いを受け入れながら互いの人権を大切にする
- 健康づくり：自分の健康や生活に関心をもち、主体的に判断して健康で活力ある生活を実践する